

## 議員提出議案4件

●高規格幹線道路に佐賀北部地域と佐賀との間で利用できる一般道路との連結道の建設を求める意見書



提出議員  
矢野昭三  
賛成議員  
藤本岩義  
宮地葉子  
中島一郎

**趣旨** 全国各地で高規格幹線道路の建設による経済効果が表れてきており、当町でも、

同道路の延伸に伴い、スポーツ合宿数などが大きく増加している。また、同道路は、佐賀、四万十市への生活道として、加えて佐賀北部地域は、佐賀地域の災害時の避難場所であり、その避難路として極めて重要な位置づけだ。

これらにより、佐賀北部地域から同道路を日常的に利用できる連結路を早期に建設するよう強く求める。  
提出先は、尾崎正直高知県知事。  
**可決(多数)**

●大学生への給付制奨学金制度の拡充を求める意見書



提出議員  
小松孝年  
賛成議員  
小永正裕

**趣旨** 2017年度より大学生への「給付型奨学金」が

一部始まるが、対象者が限定されるなど決して十分なものとは言えない。奨学金は給付が基本であり、国際人権規約が求める無償教育の実現のためにも、一日も早く、高校・大学の無償化を実現させ、社会全体でこれらの学びを支えることが強く求められている。よって、黒潮町議会は、国が教育予算を増やし、大学生に対する給付制奨学金制度を拡充することを強く要望する。提出先は、内閣総理大臣、関係各大臣、衆参各議長。  
**可決(全員)**

●特別支援学校の設置基準の策定、及び特別支援学級の学級編成基準の改善を求める意見書



提出議員  
森 治史  
賛成議員  
小永正裕

**趣旨** 全国的に特別支援学

校の児童・生徒数の増加が進む中、学習環境などで十分な対応が多く見うけられる状況の改善を目指し、黒潮町議会は、次の事項の実現を強く要望する。  
1. 特別支援学校の設置基準を策定すること。  
2. 特別支援学級の学級編成基準を改善し、1学級6名とすること。提出先は、内閣総理大臣、関係各大臣、衆参各議長。  
**可決(全員)**

●農業者戸別所得補償制度の復活を求める意見書



提出議員  
中島一郎  
賛成議員  
浜村 博

**趣旨** 米の価格は生産費を

大きく下回り、多くの稲作農家で経営が成り立たない状況下、政府は、農地を集積し、大規模、効率化を図ろうとするが、これでも赤字が拡大して経営危機に陥っている。この対策として、平成22年に農業者戸別所得補償制度、その後、平成25年度からは経営所得安定対策に切り替えられたが、これも平成30年から廃止されようとしている。これでは稲作経営は成り立たず、水田の持つ多面的機能を失い、環境も地域経済も守れない。このことから、今回、農業者戸別所得補償制度の復活を強く求める。  
提出先は、内閣総理大臣、関係各大臣。  
**可決(全員)**

人権擁護委員候補を推薦しました

人権擁護委員の任期満了などに伴い、2人の人権擁護委員候補を推薦しました。

任期は、いずれも平成29年10月1日から3年間の予定です。

大塚一福氏の後任候補者として  
伊与喜43番地16

宗崎 小代氏

矢野智子氏の後任候補者として  
荷稻434番地

宮崎 英雄氏

